

精霊流し

舞台は1980年8月15日の九州肥前松浦。夕暮れ。

東京で不倫の末、恋に破れた「女」が
死に場所を求めて故郷へ戻って来る。

自殺未遂で収容される古びた旅館が舞台。

旅館を営む「おばば」は、終戦の日の8月15日、

不義の子を死なせた思い出に生きている。

「女」と「おばば」の間で、それぞれの想いを込めた

モノローグすれすれの会話が交わされ

「女」は次第に生きる力を取り戻して行く……。

「印象的なセリフ。何度も上演されてしかるべき作品」

(1980年読売新聞劇評)

「いい劇だった。意気込みだけのことはあった」

(1982年毎日新聞劇評)

「これは生命の賛歌である」

(1992年赤旗新聞投稿)

「セリフに圧倒的な力。まざまざと残る印象」

(1994年京都新聞劇評)

出演



古賀結花



山下清美

スタッフ

美術：根来美咲 チラシイラスト：小幡隆治
照明：澤麗奈 舞台監督：櫻岡史行
音響：三木大樹 企画制作：岡部企画

於：八幡山ワーサルシアター

京王線「八幡山」駅下車徒歩1分杉並区上高井戸1-8-4 ToyaビルB1F
改札を出て左に曲がってスクを又左に曲がる。見えてきたビルの薬局の地下1F

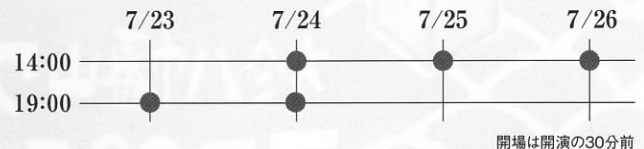
お問合せ・お申込み

TEL.0449339754 FAX.0449336406
岡部企画 Nana5years@yahoo.co.jp
<http://koudai.right-road.net>

Confetti (カンフェティ) * チケット購入は <http://confetti-web.com>
(カンフェティ) ☎ 0120-240-540 (平日10-18時)
購入でもらえるカンフェティポイントは、次回公演や他公演でご利用頂けます。
また、1枚購入ごとに、途上国の子どもたちに「BCG ワクチン1人分」が寄付されます。

タイムテーブル

日時：7/23(木) ~ 7/26(日)



岡部耕大作「修羅場にて候」は、同八幡山ワーサルシアターで6月26日(金)~7月5日(日)まで、上演されます。

『精霊流し』は1980年、『修羅場にて候』は1981年に発表されました。

『修羅場にて候』をご観劇された方は、チケットの半券ご提示で『精霊流し』の入場料金を2割引とさせていただきます。

【事前に日時のご予約をお願い致します】

予告 岡部企画プロデュース 64

岡部耕大書き下ろし 芸術祭参加予定作品

『姉しゃま -円谷幸吉とその時代-』

東京オリンピックから円谷幸吉が自殺するまでの時代を描き、発展途上であり、希望に満ちていた日本から、戦後70年を迎え、東京オリンピックが話題になっている今日の日本を見つめ直したい。

平成27年10月29日(木)~11月1日(日) 於：新宿紀伊國屋ホール

『韋駄天の記』西日本新聞長崎県版(月曜日)連載中

70歳を迎えた岡部耕大が、少年時代、長崎や日本の原風景、演劇界の歩み、故郷松浦に寄せる想いなどを綴ります。